

なる形式的結合の旧弊を釐清せしむに終つた事を悦びとする
のである。

國際部報告

昨年十月の臨時大會以後に於て、國際部が取扱つた事件の中、重要なるものは東洋労働者會議に關する件、第八回第九回國際労働會議出席の労働代表並に顧問選出の件、英國總同盟罷業應援の件、の三件である。

一 東洋労働者會議に關する件
此の問題の起りは一九二四年五月第七回國際労働會議の際、日本労働代表者鈴木文治氏と印度労働代表ジョウシ文との間に對面した。次いで昨年一月の總同盟全國大會に於て、東洋労働者會議開催に關する決議案が可決された。このに始まる。

國際部は本年五月を期して東洋労働者會議乃至は之が豫備會議を支那に開催せんものと着々諸種の調査を始めた。國際部当初の調査方針は、東洋労働者會議の主要關係國に